

再評価（3年次評価）結果票

則松保育園

1 再評価実施日

平成27年 9月 7日

2 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

3 再評価結果（※評価結果・・・平成22年 8月31日実施）

○ 保育課程	
評価結果	・園の独自性を具体的に盛り込むことと見直しを行っていくことが望まれていました。
再評価結果	・保育課程には、園の独自性として「体操教室」「リトミック」「お茶のおけいこ」が盛り込まれており、積極的な取り組みがなされていました。また、保護者へのアンケート調査などを基にして、課題を検討し、見直しが行われていました。

○指導計画	
評価結果	・指導計画の作成にあたって、クラスごとの連携をとり、一貫性が図れるように様式や内容を整理することが望まれていました。
再評価結果	・指導計画の作成にあたっては、様式を統一し、クラス会議、3歳未満児・3歳以上児会議などでの連携によりクラス間の保育内容の一貫性が図られています。

○子どもの人権	
評価結果	・ 計画的に子どもの人権に関する研修へ参加していくことや、保護者に対して人権尊重の啓発を行っていくことが望まれていました。
再評価結果	・ 子どもの人権に関する研修会への参加や園内研修が計画的に行われており、職員の共通理解に努めていることが伺えました。保護者の啓発については、園だよりや関係したチラシを配布し、行事の際に園の取り組みを伝えるなどの働きかけが行われていました。

○小学校等との連携	
評価結果	・ 定期的に、小学校や他の保育園等との保育交流やお互いの保育参観・授業参観などの実施が望まれていました。
再評価結果	・ 保幼小連携会議への出席し、園児と小学生との交流活動が計画的に行われています。近隣の保育所との、いもほり行事や公開保育等を通して、園児同士、職員相互の交流活動も計画的に実施されていました。

○保育サービス向上への取り組み	
評価結果	・ 自己評価の結果を基に改善策や改善計画を立て実施するとともに全職員へそれらを周知することが望まれていました。
再評価結果	・ 自己評価の結果に基づき、取り組むべき課題を明確にし、職員会議にて結果の検討を行い、次年度の事業計画に反映させています。また、会議に出席できない職員には、自己評価結果の概要やポイントを記した会議録を配布するなど、全職員への周知を図っています。